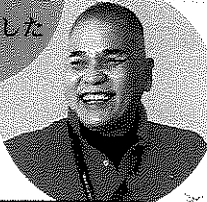


今回のゲスト

伊勢亀鈴会 鈴鹿社会的事業所 まかせ太君
内山 周二さん

障がい者
就労支援について
書いてみました



伊勢亀鈴会「鈴鹿社会的事業所 まかせ太君」営業職に従事。事故をきっかけに障がいを負ってからはデスクワークを中心に長年培ってきた不動産事業部を去年立ち上げ、伊勢亀鈴会の空き家対策等の営業業務を担当。

空き家事業について

高島まこと 20年卒の夜人です

内山 営業が亀山の窓口に行って、行政はたくさん情報持ってるんですけど、個人情報なので当然教えてくれませんか。地道に、亀山市のお悔やみのところへ不動産事業、遺品整理、土地の処分とか広告を入れています。

高島 亀山も空き家が増えてきて。仏壇が置いてあるから売りに売れない、先祖が寝とるして。家は空いてるけど、新しい所に家を建てて結婚するのでお子さんたちが帰ってこない。町はいいけど田舎の家を何とかせないかなんとか。

内山 土地を何とかできて、家を解体して売るとなると、買い手がつかない。持ち主だとして、土地が売れるなら解体のお金も出して、後から返ってくるじゃないですか土地が売れたらね。でも、それがなかなか。町中だと売れるけど田舎の方だと売りにくい。だからまず買手を見つけられるといちばんいいんですけど、そこが難しいところ。

高島 亀山市のホームページに空き家情報があって、どんだけ更新されてるのか定かではないんですけど、田舎では先祖代々ってのがああるしね。道路事情もあって、田舎の土地は売れんのかな。

内山 306号から少し入ったらもつつかない。だから、朽ち果てた家が増えていく。行政も悩んでいて、何とかならないかという話はさせてもらってるみたい。でも情報を教えることはできない。行政も痛し痒しだと思うんですよ。昔みたいにここが連絡先だよって教えてもらえれば、その先が繋がっていくと思うんですけど。

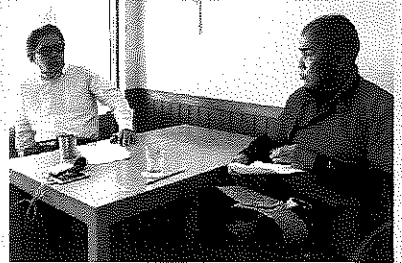
高島 田舎の方が隣の人に聞いたら、誰と誰がどこに嫁いであそこにおるて、うまくいけば連絡先なんかすぐにわかるっていう、良さがあるんやけどね。

内山 鈴鹿のど真ん中で空き家があっても、ご家族さん息子さんがどこにいるか連絡がつかない。

高島 都会へ行けば行くほど隣に誰が住んでるかわからんとかね。

内山 営業をして、結果が出るまでに1年2年がかりですよ。家を見つけて繋がりができた。うちで頼みますって言って、見積もりを出すまでに半年かかる。その間にあいみつを取る。当然しますよね。

そこで高かったりすると…社会的事業所がいちばんにセールスせなあかんと思うのは、障がい者の人が働いて、お金を得るための仕事をさせてください。同じ100万でも、障がい者の方に払うのは価値が高いと思う。障がい者は仕事したくても仕事がないんや。



障がい者雇用について

高島 そう、そうなん。障がい者もね一人前に働いて一人前に食べて、一人前で死んでいける世の中っていうのが、僕が言う、一人前の世の中にならなあかんということや。

内山 うちの理事長は、親亡き後の生涯を言われるんです。障がい者年金で8万円をもらって、そこにプラス「まかせ太」で働いて7、8万もらって15万円ぐらいになれば、何とか生活していけますよね。何とか。

高島 派手な生活せんだら食っていけるんやで。障がい者やから給料が安いとかさ、そういう話になってくるもんであかん。事業所も、何%を雇いなさいと、もっと比率を上げればいいと思う。

内山 大企業が障がい者枠で何%雇いなさいって。雇ってもらえる人はほんの一握りだよ。障がいがあって車椅子でも移動もならんようでも働いてお金を稼ぎたい訳よ。生きていくにはいかに仕事を見つけるか。だから私どもは、解体の仕事を取ってきて、仕分けや遺品整理をやってもらって、確かに健常者に比べてスピードは遅い。でも、その子らが働いていければ。そこをぜひ見てください。

高島 車椅子乗ってハローワーク行って仕事はこれがありますっていう時代が来ないと。仕事が早いとかは関係なくて一人前の給料を出すのが必要じゃないかなって。今、やっているのは公的機関とか大企業だけで、そのバックアップが手薄じゃないのかな。

内山 今度三重県でも最低賃金が970円から上がりますよね、20円ぐらい。でも、もらえる人は障がい者で、本当に一握り。伊勢亀鈴会の就労で働いてる人は一生懸命ろうそくを箱に詰めたりとかして月3万、4万円もらえばいい方。能力的に自由な人に比べれば3だから、しょうがないところはあるんやけども、3の仕事でも与えなければ3は生まれてこない。だから何とか頑張って伊勢亀鈴会の職員が営業も頑張るし、理事長もいろんなところに広めていって少しでも障がい者が仕事できるよう一生懸命進めます。

高島 その人たちは仕事が嫌で辞めていく人らおらんね。うちらは簡単に仕事を辞めるってなるけど。一生懸命するよね。

内山 「まかせ太君」事業で今、除草作業が多いですけど、35、6度の中でも、暑いから嫌だって仕事を休む子いませんもん。

高島 すごいなと思っていつも見てる。今後、国平均では1000円いくらになるでしょう、それに合わせてかんと。能力は3だと言ひ出したら1000円の数字の根拠まで崩れるわけよ。

内山 同じことをして、10できる人と3しかできない人では、賃金に差が出ていいと思うんです。差が出ないと10の人が可哀想。逆なこと言ってね。10な人が3に行くからね。せめて3を稼げる仕事をできんからやらのじゃなくて何とかね仕事をしてもらおうのが大事。

高島 3だったら3、5だったら5の仕事をすればいいしね。一生懸命やって、3しかできないこともまた認めてあげるっていうかね。一生懸命汗かいて仕事してくれる。健常者でチンタラ、とぼけたやつがおるで。内山さんは健常者の気持ちもさ、両方分かってるでしょ。

内山 上半身は健常者で腰から下は障がい者。

高島 就労支援っていうか、普通にハローワークに行って仕事があるようにね。その方が、結婚まで考えられるような社会っていうのは必要じゃないかなと。それが食ってけやん世の中なんやな。

内山 各行政が障がい者の施設なんか優先的に仕事を与える何でしたっけ、亀山は少ない。それを増やしてもらえると。やっぱり亀山市は亀山のところを考えて当たり前じゃないですか。亀山に障がい者施設ができないと、近隣の施設へ優先発注ってなるから。

高島 必要だし、亀山市に大規模なところはないと思う。そういうの営業かけていけばね。内山さん達の営業がバンバンバンバンくれば、一般企業がびびるぐらいのことをしてもいいと思うけどね。

内山 私が勤めだした7、8年前に比べると、まかせ太事業の現場もだいたい重機とかが整ってきて、前はパッカー車もなかったのに、パッカー車1台買って、今年2台目も買って。

高島 ユンボもあるし高所作業車もあるよね。俺ずっと見とったよ。

内山 できる範囲がぐっと広がって、もっとそれをアピールして仕事を取れるようにと言われておって。頑張って営業をやってくれていうところ。

高島 今結構社会的には一人前に一人前になって。僕はヨット乗るんやけど、セラピーヨットでヨット楽しんでるね、射撃もパラクレーっていうのがあってさ。それで第一線に出てくる。僕は多様性の世界ではもう絶対必要やと思う。

内山 障がい者になると、もう自分は何もできなくなったんだって考えがちなんですけど、今いろんなことをできるようになってきてるじゃないですか。テニスの国枝さんが辞めたら、もう17歳の新しい人が車いすテニスで、世界ランキング1位になるような。

できることが非常に増えて広まってるんやなって思うし、今日ここ来る前にトレーニングセンターで筋トレとかしてきたんです。そこに射撃の県の代表で行くような人がね、その人らのことを考えると、できる環境になったらいいなと思う。

高島 だから新しいことをもっともっとチャレンジしていくべきでね。ただね気をつけなあかんのはね、甘い言葉で言い寄ってくるのがおるでね、●産党みたいなやつが。結構いてね、嫌なんです。どんな場でもね、障がい者の人が活躍する世界っていうのがね。政治家って全体的に見なあかんやろって言われるんやけど内山さんたちと知り合ったり、パラクレーに関わるようになって、まず興味を持たないといけないなど。人間が保守的やもんで、最古から体の悪い人を排除することはなかった。ただそれを飯の道具にしてくるやつが気に入らんと思う。亀山市を前に進めていかなあかんって。ホームページを見てもらうと、「今こそ前進」って書いてあるから。

内山 高島さんが、これから強くなっていくところが、前回落ちたということ。

高島 そやね、あれはキイタネー。

内山 復活して政治の世界戻ってきた。その4年間は悔しくていろんなこと考えたと思うけど、それを生かして、障がい者のことにも目を向けて私っていう身近にね、障がい者の人もおったということもあるかもわからんけど、そこら辺をもっとね、力を入れてやってもらえると。綺麗ごとでは言うけどねみんな。

高島 綺麗事はみんな言う。俺は、何を綺麗事を言うもんねってなるわけよ。現場踏んで来いって。よく内山さんとこに顔出して話聞くようにしてるんやけどさ。やっぱりこの世の中ね一人前で食べられて一人前で死んでいけるっていう僕はもうそれは基本と思った。

内山 私もね、目指してるのは一人前に死んでいくこと。それプラス、家内よりも先に死ぬこと。

高島 僕もそう。本当にいろんな多様性がある中で、SDGsとか言うてるわけや。そんなことありえやんと思ってる。

内山 人間の本性だと思うんだよSDGsって。物を大事にする。昔は買い物カゴ持っていった。しょうゆ買いに行くのも、豆腐買いに行くにも持っていった。それってSDGsでしょ。世の中が便利になって、プラスチックが出てきたと思う。

高島 もう一回原点に戻るっていうのはわかるんやけどさ。そこをどこまで戻れるかってね、それに関わって生活する人もおるし。

内山 できることを一つ二つ増やしていくってことですね。

高島 今日は勉強になったな。これからも、情報交換をしていかなあかん。

